地域（自治会等）におけるイベント開催チェックシート

別紙３

（屋内における会議、講演等）

小 矢 部 市

●参加者に関する要件

□ 体調不良の方はいませんか。

（発熱、咳症状、咽頭痛、味覚障害などの症状がない）

□ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいませんか。

●プログラムの内容

□ 参加者間で一定距離が保てる内容ですか（３密を避ける等）。

□ 会場や部屋の大きさは十分ですか（参加者数に応じて検討）。

可能な場合には、事前予約制にし、参加者を把握しましょう。

参加者が多く見込まれる場合は、数回に分けて開催しましょう（例：午前、午後）。

□ 企画内容に応じて、開催時間を制限し、可能な限り時間短縮しましょう。

□ 参加者へ呼びかけ（マスクの着用、検温、体調がよくない場合の参加見合わせ等）。

開催案内等への記載。

●会場の準備

□ マスクや手洗い石鹸、状況に応じて、手袋や消毒液などを準備しましょう。

□ 可能であれば体温計（非接触型）を準備しましょう。

□ 受付（参加者）名簿を準備しましょう。

□ 使用開始前に清掃と消毒、換気をしましょう。

□ 椅子の配置は隣を空ける。または、可能な限り（最低１ｍ）間隔を保つようにしましょう。

●受付

□ 参加者が一度に入場しないよう入場整理をしましょう。

□ 受付（参加者）名簿を作成し、参加者の体調を確認しましょう。

体調の優れない方は参加させず、帰宅していただきましょう。

□ マスクを持参していない場合は、マスクを支給しましょう。

□ 参加人数が多い場合、入場制限などの対応をしましょう。

●プログラム中

□ 開始時に参加者の体調や様子を尋ねましょう。

体調の優れない方は、帰宅していただきましょう。

□ 参加者間で一定の距離が保てているか、確認しましょう。

□ 熱中症対策として適時休憩を入れましょう（水分補給等）。

□ 運動時のマスク着用は、周りの状況により参加者の判断に任せます。

□ 会場出入り口のドアや手すり、トイレなど共有部分を定期的に消毒しましょう。

□ 途中で窓を開けたり、扇風機などで適宜換気しましょう。（30分ごとに１回を目安）

●プログラム終了

□ 原則として参加者でごみは持ち帰っていただきましょう。

□ 一斉に参加者が帰らないよう、時間をずらして退出させましょう。

□ 会場の清掃を行い、消毒をしましょう。

□ ごみを回収する人は、マスクや手袋を着用しましょう。

□ 後に感染者が発生した場合は、参加者名簿の提出をお願いします。

地域（自治会等）におけるイベント開催チェックシート

（屋外におけるイベント、事業等）

小 矢 部 市

●参加者に関する要件

□ 体調不良の方はいませんか。

（発熱、咳症状、咽頭痛、味覚障害などの症状がない）

□ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいませんか。

●プログラムの内容

□ 各プログラムで、参加者間の距離が一定保てますか（３密を避ける等）。

密になるようであれば、見直しや、スクリーンの設置などの対策を講じましょう。

□ 参加者を把握するため、出来る限り来場者を限定しましょう（地区内、町内）。

□ 物販等を行う場合は、整列枠を設け距離をおいて並べるよう目印等（足型）を設置し、整理人を配置しましょう。

□ 物販に際しては、可能な限りお金（釣銭）の受け渡しがいらないようにしましょう。

事前のチケット販売などにより、参加者数の把握に努めましょう。

□ 来場者の見込み人数に見合った（最低１ｍの間隔を保つ）会場を確保しましょう。

□ 必要に応じて、入場整理券等を作成しましょう。

□ 各担当は、掛け持ちをせず１つの役に徹しましょう（多人数への接触を避ける）。

□ 企画内容に応じて、開催時間を制限し、可能な限り短縮しましょう。

□ 参加者へ呼びかけ（マスクの着用、検温、体調がよくない場合の参加見合わせ等）。

開催案内等への記載。

●会場の準備

□ 各配置を確認し、参加者間で一定距離（最低１ｍの間隔）が保てる配置か確認しましょう。

□ 参加者の接触を避けるため、できるだけ会場への入口と出口を分けましょう。

可能な限り、参加者把握のため、入口と出口をそれぞれ１か所にしましょう。

□ マスクや手洗い石鹸、状況に応じて、手袋や消毒液などを準備、設置しましょう。

□ 可能であれば体温計（非接触型）を準備しましょう。

□ 開始前に清掃と消毒をしましょう。

□ 受付（参加者）名簿を準備し、参加者把握に努めましょう。

●受付

□ 参加者が一度に入場しないよう入場整理をしましょう。

□ 受付（参加者）名簿を作成し、参加者の体調を確認しましょう。

 体調の優れない方の参加を断り、帰宅していただきましょう。

□ マスクを持参していない場合は、マスク等を支給しましょう。

□ 参加人数が多い場合、入場制限などの対応をしましょう。

●プログラム中

□ 開催中に体調の優れない方がおられないか、周りの状況を確認しましょう。

体調の優れない方は、救護コーナーへの案内、または帰宅していただきましょう。

□ 熱中症対策として適時休憩を入れましょう（水分補給や救護コーナーの設置等）。

□ 運動・スポーツ時のマスク着用は、周りの状況により参加者の判断に任せます。

□ 参加者間で一定の距離が保てているか、確認しましょう。

□ トイレ等、共有部分を定期的に消毒しましょう。

●プログラム終了

□ 原則として参加者でごみは持ち帰えっていただきましょう。

□ 一斉に参加者が帰らないよう、時間をずらして退出させましょう。

□ 会場の清掃を行い、消毒をしましょう。

□ ごみを回収する人は、マスクや手袋を着用しましょう。

□ 後に感染者が発生した場合は、参加者名簿の提出をお願いします。

屋外における各種イベントの例

【例：地域の清掃等】

□ 参加者を確認し、名簿を作成しましょう。

□ マスクを着用し、体調が悪い人は参加しないようにしましょう。

□ 清掃場所も密接、密集にならないように作業しましょう。

□ 集合する場合は、参加者間で一定距離（最低１ｍの間隔）を保ちましょう。

□ 熱中症対策を行いましょう（水分補給、適時休憩等）。

□ 作業終了後は、石鹸による手洗いや手指消毒を行いましょう。

【例：地域の祭り等】

□ 各プログラムの内容が、３密にならないか確認し、必要に応じて見直しましょう。

□ 参加者の接触を避けるため、会場への入口と出口を分けましょう。

可能な限り、参加者把握のため、入口と出口をそれぞれ１か所にしましょう。

□ 会場内の密集を防ぐため、状況に応じて入場制限を行いましょう。

□ 屋内展示については、通路を大きく取り、参加者の距離が保てるよう配置しましょう。

会場の大きさに対して密集するようであれば人数制限を行いましょう。

□ 熱中症対策を行いましょう（水分補給や救護コーナーの設置等）。

□ トイレ等に手洗い石鹸や消毒液を設置しましょう。

□ トイレ等の共有部分を定期的に消毒しましょう。

物販等

　□ 物販等を行う場合は整列枠を設け距離をおいて並べるよう目印等（足型）を設置し、整理人を配置しましょう。

□ 販売対面にスクリーンを設け、可能な限りお金（釣銭）の受け渡しがいらないようにしましょう。

□ 必要に応じて、整理券等を作成し、人が集まらないようにしましょう。

□ 飲食物については、食べる場所を限定して設け、対面にならないよう広くスペースを設けましょう。また適時テーブルや椅子の消毒を行いましょう。

ステージ等

□ ステージ発表については、飛沫が飛ばないように配慮（発表者の限定、スクリーンの設置等）しましょう。

□ ステージの大きさに合わせて、出演内容や人数を制限しましょう。

□ ステージと客席を一定間隔（５ｍ程度）開けましょう。

□ 客席の椅子等の配置は隣を空ける。または、可能な限り（最低１ｍ）間隔を保ちましょう。

【例：地域の運動会等】

□ 来場者の見込み人数に見合った大き目の（最低１ｍの間隔を保つ）会場を確保しましょう。

□ 各競技種目において、密接、密集にならないか確認し、必要に応じて見直しましょう。

□ 会場（テント）内が密集しないよう人数の制限（例：高齢者優先）を行いましょう。

□ コール場所（出場選手集合場所）が密接、密集しないよう広く確保しましょう。

□ 各役員、担当は、掛け持ちをせず１つの役に徹して動き回らないようにしましょう。

□ 長時間人が集まらないように、開催時間を限定し、可能な限り時間短縮しましょう。

□ 熱中症対策を行いましょう（水分補給や救護コーナーの設置等）。

□ トイレ等に手洗い石鹸や消毒液を設置しましょう。

□ トイレ等の共有部分を定期的に消毒しましょう。